

9. 四国（地域別調査機関：四国経済連合会）

（－：回答が存在しない、○：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連 (四国)	良くなる やや良くなる	－	－
		商店街（事務局長）	・円安、株高、政治への期待感などを足がかりに、これから春先にかけて消費マインドも上向くと思われる。ただし、商品やサービスを吟味する消費者の目はなお厳しく、単純に財布のひもが緩むとは考えづらい。しっかりとした価値の提案が必要になる。
		商店街（代表者）	・冬物の売行きが好調。春物の立ち上げも早くなると思われる、このまま良い方向で推移すると予想する。政権も変わり、期待感があふれており、消費マインドもかなり上昇するのではないかと。
		百貨店（営業担当）	・総選挙後の、客の景気が良くなるという期待感に加え、近隣に駐車場が完成することもあるとあって、来客数が増えるのではないかと予想する。
		スーパー（財務担当）	・新政権が、景気回復・デフレ解消に大きく軸足を移しており、その結果に期待していることから、やや良くなると予想する。
		コンビニ（店長）	・周辺で宅地造成、新築工事が始まっている。住宅の工事が増えれば来店客が増えて好転し始めると考えている。
		衣料品専門店（経営者）	・大手ショッピングセンターのオープンから丸1年が経過したが、株価が上昇していることを鑑み、売上が減少した昨年と比べれば、良くなるのではないかと期待している。
		衣料品専門店（経営者）	・政権が変わったことに加え、消費税増税前の駆け込み需要が予想される。
		乗用車販売店（営業担当）	・春の需要期を迎え、1月には、初売りを始め新商品の展示会イベント等でユーザーの購買意欲を高めたい。
	設計事務所（所長）	・建設関係の件費が上昇しつつあり、震災復興の関係で大手の建設会社等は受注を控えている様子がある。	
	変わらない	商店街（代表者）	・政治の変化が経済の変化につながるにはかなりの時間差がある。その間が安定した数の保守政治により活路を見出す機会であって欲しい。
		一般小売店 [酒類]（経営者）	・上向く理由が思い当たらない。
		一般小売店 [乾物]（店員）	・政権が変わり、景気を良くしてくれると思う。
		百貨店（総務担当）	・一時的に株価は上昇しているが、具体的な経済対策・原子力発電所稼働の方向性が打ち出されないなかでは継続的な景気の回復は見込まれにくいと思われる。
		スーパー（店長）	・目下のところ景気好転の要因が見当たらない。
		スーパー（店長）	・現状、特に景気が上昇していくような要素はみられない。
		スーパー（企画担当）	・店舗規模による競争力の差がさらに顕著になっていくと予想される。
		スーパー（統括担当）	・政権が変わり、若干、期待をしつつも、変化はないように思うため、変わらないと予想する。
		コンビニ（商品担当）	・自民政権下で、円安主導が継続化されたとしても、個人消費が上向くには更なる時間を要するのではないかと考える。
衣料品専門店（経営者）		・例年1～3月はあまり良くないため、変わらないと予想する。	
衣料品専門店（総務担当）	・客単価は低迷しており、購買意欲の低下が感じられる。依然として景気が上向く兆しはなく、しばらくは厳しい状況が続くとみている。		
家電量販店（店長）	・売上状況からみて、変わる要素がない。		
家電量販店（店員）	・新生活需要が見込めるが、家電一式をそろえる客の割合が減っており、販売量は今月と同程度か若干下回ると予想される。		
乗用車販売店（従業員）	・新車販売台数が回復する見通しは、見当がつかない。		
乗用車販売店（従業員）	・新内閣の施策がすぐに1月に実行できるはずもなく、消費の冷え込みは変わらないと思う。		
乗用車販売店（従業員）	・販売量をみると前年とほぼ変わらない状況で動いているため、変わらないと予想する。		
乗用車販売店（役員）	・新車の登録は思ったよりは悪くない。新型車投入の効果もあり、ある程度落ちないという状況である。自動車業界も1～3月は決算があり、意外と現状維持か、それ以上で行けると踏んでいる。		
観光型旅館（経営者）	・予約状況は昨年と比べて良いというわけではない。消費は少し上昇していくのではないかとも思うが、今はあまり期待できない状況にある。		

	都市型ホテル（経営者）	・宿泊の予約が非常に悪い。バンケット部門は好調であるが、景気は弱含みのまま推移すると思われる。
	旅行代理店（支店長）	・総選挙での自民党勝利の影響で、景気回復への期待感があり旅行需要の増加も期待されるが、反面、円安傾向で海外旅行需要の落ち込みが懸念される。
	タクシー運転手	・建設業界の談合問題で、春頃から仕事がなくなるのではないかと心配している。忘年会も建設関係はほとんどなかった。客の給料ベースアップの話があったのは通信関係のみで、変わらないと予想する。
	通信会社（営業担当）	・春の商戦期を迎え、販売数量の増加は見込めるものの、例年を上回る要素は見当たらない。2台目需要の動向に期待したい。
	通信会社（企画）	・現状では、お客さまの状況に変化はなく、今後大きな要因もないことから変わらないと予想する。
	ゴルフ場（従業員）	・12月が非常に悪く、このまま3か月先まで引張られるのではないかと想像しており、変わらないと予想する。
	競艇場（職員）	・年末年始のレースの売上が1年を占うと思われる。売上増加のためには、いい選手を呼ぶ、大きなレースを開催するなどして来場者数を増やす工夫が必要である。しかし、2月・3月は大きなレースもなく、変わらないと予想する。
	美容室（経営者）	・消費マインドが相変わらず冷え込んでいるように思う。
	設計事務所（職員）	・年度末納期に向けたフル操業状態が継続するが、上半期の売上低迷が影響して、年間を通じると変わらない。
	住宅販売会社（従業員）	・消費税率の据置きもあり得るかもしれないことから、買い控えをしているように感じられ、販売量は大きく増えないのではないかと思う。
やや悪くなる	一般小売店〔生花〕（経営者）	・年末の動きから、年始以降も活気が出てくる要素がなく、見通しが明るくなるとは思えない。季節行事が年々薄らぎ、物が動かなくなっているように思う。
	コンビニ（総務）	・天候や気温にも左右されるが、現状を回復させるような要因は見当たらず、しばらくはこのままの状態が続くと思われる。
	その他専門店〔酒〕（経営者）	・12月末は1年で一番良く売れることから、今後は下降気味になると予想される。
	観光名所（職員）	・閑散期に入るため、やや悪くなると予想する。
	美容室（経営者）	・年間を通して良くないと思うので、やや悪くなると予想する。
悪くなる	一般小売店〔酒〕（販売担当）	・政権交代し政府は前向きな事を並べ立てているが、景気はなかなか戻らないだろうし、地方の冷え込みは大変厳しく、悪くなると予想する。
	住関連専門店（経営者）	・東日本大震災、原子力発電所問題がはっきりしないことや中国の問題もあり販売量が伸びておらず、悪くなると予想する。
	タクシー運転手	・年を越して、客は夜の街にもあまり出なくなった。春のお遍路のシーズンが始まるまで、相当落ち込むことが予想される。
企業動向関連 (四国)	良くなる	—
	やや良くなる	—
	繊維工業（経営者）	・全体的に景気は上向きのように感じられる。
	木材木製品製造業（経営者）	・復興需要に関しては、今年よりも来年のほうが受注は多いように感じる。株価上昇、為替も円安に振れていることから、少しは良くなるのではないかと。
	一般機械器具製造業（経理担当）	・円安の継続と政権交代による自民党政権の経済政策に期待している。
	電気機械器具製造業（経営者）	・メガソーラーの建設で大変忙しく、たくさんの受注がある。先月に比べると、売上は倍増していくような感じである。この点だけが大変良いということで、やや良くなると予想する。
	電気機械器具製造業（経理担当）	・欧州・米国市場ともに変化はないが、円高基調が落ち着き、安堵感がある。為替状況がこのまま継続すれば、業績は若干好転すると予想する。
	通信業（部長）	・政権の期待感からか、取引先の中には景気回復を予想する企業が多くなっている。
	公認会計士	・新政権に対する期待が非常に大きい。特に公共事業、公共投資が具体化してくるのではないかと。また、消費税増税前の駆け込み需要などを考える客が多く、非常にマインドが上向きになっている。
変わらない	農林水産業（総務担当）	・時期的に供給量の大幅な回復は期待できず、末端売価は高めで推移すると見込まれ、消費の動きを活性化するには至らない。
	建設業（経営者）	・自民党に期待するも、まだまだ先の話であり、変わらないと予想する。

	建設業（総務担当）	・安ければ良いという風潮が蔓延している。もっと品質重視でいかないと、この不景気から脱却できない。	
	輸送業（経営者）	・政権交代後の様子を見ている。	
	金融業（融資担当）	・大きく好転する材料がなく、横ばいで推移する予想である。	
	広告代理店（経営者）	・政権交代による株価上昇等の期待感や新規出店等を含む具体的な新規案件も多少あるが、多くの地元資本得意先からは依然広告費削減の話があり、現時点ではあまり変わらない見込みである。	
やや悪くなる	パルプ・紙・紙加工品製造業（経営者）	・1月、2月は落ち込む時期であるが、今年度は例年以上に落ち込みそうな受注状態である。	
	輸送業（支店長）	・荷主からのコストダウン目的の契約単価ダウン要請、並びに公共事業終了による収入ダウンによる。	
悪くなる	鉄鋼業（総務部長）	・政権交代を受けてのドル円為替相場84円前後では受注環境の回復は見込めない。90円台になれば回復基調が望める。	
雇用関連	良くなる	—	
(四国)	やや良くなる	人材派遣会社（営業担当）	・政権が代わり、年度末に向け、求人数などの需要に期待したい。
		人材派遣会社（営業）	・政権が代わり、これから打ち出される政策が景気回復にどう影響するか期待したい意味も含めて上向くと感じている。
		求人情報誌（営業）	・新卒採用を増やしたり再開したりする企業が増えることにより、その企業の経済活動が活発になり、景気の底上げに寄与する。
		求人情報誌製作会社（従業員）	・年度末は例年求人数が増えるため、やや良くなると予想する。
		職業安定所（職員）	・月間有効求人倍率は、前月比0.08ポイント上昇、前年同月比0.14ポイント上昇していることから、やや良くなると予想する。
変わらない	職業安定所（職員）	・コールセンターを始め求人数は一定数を確保しているものの、常用フルタイムでの募集活動に関する情報がない。	
	学校〔大学〕（就職担当）	・卒業年次生向けの求人は若干増えてきており、内定率もアップしてきたが、次年度向けの求人は昨年ほど伸びていない。	
やや悪くなる	新聞社〔求人広告〕（担当者）	・裾野の広い建設業界の談合反則金支払等で景気の足を引っ張る材料が大きい。	
	職業安定所（職員）	・大手電機メーカーの間接派遣、請負会社への発注数量の減少に伴い、雇用調整の動きが予想される。管内では11月末に製造に関する雇用調整の動きがみられ、69名の大量整理があった。	
	民間職業紹介機関（所長）	・毎日企業を訪問しているが、全体的に高揚感が感じられない。理由は様々であるが、全般的に、経営の先行き不透明感がある。	
悪くなる	—	—	